

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		どんぐりの樹					公表日	令和7年	5月	7日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	学習の場と遊びの場を分けている。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	1	職員は全体を見渡せる場に配置し、日によって個別指導を行っている。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		パニックを起こした児童には心を落ち着ける場所がある。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		児童たちは帰る前に全員で片付けをした後に、職員が点検を行っている。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		クールダウンできる部屋があり、児童たちは自主的に使っている。					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	1	PCDAサイクルは必要との意識を持つよう指導している。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	保護者の意向を尊重し、利用者個々の実態に合わせ日々の活動をしている。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		職員でケース会議を行っている。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	2		外部評価を今以上いただけるよう努力し、その結果を活かせるようにしていく。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	研修を極力取り入れている。					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	支援プログラムを作成し、日々の活動をそれに沿ったものになっているか点検し実施しており、ホームページに掲載している。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0	個別計画書作成前に児童と保護者に必ずニーズをお聞きし、それらを取り入れた計画書を作成している。					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	個別計画書原案を作成前にアセスメントを取り、相談支援員の意見も取り入れ職員でケース会議を行い、意思疎通を図り作成している。					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	行っている。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	日々の児童の状況を記録している。					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	計画の設定については、支援に必要な項目を話し合い、必要に応じて。変更している。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	2	話し合いにより立案している。					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1	固定化しない工夫を定期的に行っている。					

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	個別に課せられていること、宿題だったり課題などの個別活動を早めに終わらせるようにし、時間を決めて集団活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	1	送迎終了後行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	1	行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	個別支援計画書作成時にフェイスシート、アセスメント、モニタリング、前回の個別支援計画書、職員からのアセスメント、相談支	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	園や、関係機関、相談支援員と密に連携を図っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	行っている。また保護者が医療機関に児童の説明が難しい場合は書面にして説明が必要ないようにする時もある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	保護者の了承を得た上で、情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	保護者の了承を得た上で、情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	2		助言や研修を受ける機会を増やすようにしている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	1	先日泉北、泉南地域と連携を図るイベントを開催した。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	共通理解に力を入れている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	3	ご家族に対して情報提供をしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0	同意を得ている。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	必ず必要な助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	4		交流できるイベントを企画しているが今後もっと力をいれていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	適切な対応をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	2	SNSを通じて地域との連携も行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	1		今後今以上力をいれていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	1	マニュアルを基に行動する訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	1	行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	必ず行っている。また日々の服薬については連絡帳等で確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	安全管理に十分配慮している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0	家族等との連絡はしっかり行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	施設で研修をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	0	共通理解を図っている。	